



第40号

令和4年1月(年2回発行)

社会医療法人 博愛会 菅間記念病院

〒325-0046 那須塩原市大黒町2番5号
TEL: 0570-08-0733(代表)
URL: <https://www.hakuai.or.jp/>

菅間 付 属 診 療 所	TEL: 0287-67-1570
菅間 在 宅 診 療 所	TEL: 0287-73-5934
在 宅 総 合 ケ ア セ ン タ ー	TEL: 0287-62-3311
NASPA (フィットネス)	TEL: 0287-67-1577
那 須 看 護 専 門 学 校	TEL: 0287-67-1188



「赤富士」 撮影者 菅間 博

～病院理念～

1. 博愛と信頼 2. 地域と共に 3. 高度な医療

～患者憲章～

患者さまには、以下の権利と義務があります。

1. 思いやりのある医療を平等に受ける権利
2. 一人一人に最適な医療を受ける権利
3. 病状・治療の十分な説明を受ける権利
4. 他の医師や医療機関に相談する権利
5. 治療方針をみずから決定する権利
6. 個人情報や診療の秘密が守られる権利
7. 診療環境の秩序を守る義務

～基本方針～

1. 「いつでも」「どこでも」「だれでも」をモットーに、救急医療から在宅医療まで、包括的な医療サービスを提供します。
2. 近隣の医療保健施設と連携し、地域の医療レベルの向上、人々の健康の増進に貢献します。
3. 常に医療技術の研鑽に努めるとともに、人間性を高め、高度で人間味のあるチーム医療を展開します。
4. 施設と設備の整備に努め、安全で効率的な診療環境をつくります。
5. 健全で透明性の高い経営に努め、活力に満ちた病院機能を維持します。

令和4年 新春を迎えて — コロナ後の医療を見据えて —

社会医療法人博愛会 理事長
かん ま ひろし
菅 間 博

謹んで令和4年の新春のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に終始した一年でした。R1 + アルファ変異株による春の第4波、デルタ変異株による真夏の第5波。これまで菅間記念病院は栃木県全域から250人程の患者を受け入れ、一人も重症化することなく退院されました。年末にはオミクロン変異株の感染拡大が懸念され、ウイルスゲノム解析を県から依頼されています。

昨年、新たに阿部有起医師、大島遼歯科医師、樽本高壽医師、稲瀬誠実医師、遠山慎吾医師が加わるとともに、武田美代子アドバイザー、橋口律子看護部顧問を始めとする多くの方が入職しました。ピンチをチャンスとすべく組織運営体制の見直しとともに、院内デジタル化を始めました。那須塩原クリニックは菅間付属診療所と名を変えるとともに、那須看護専門学校等と一体となったメディカルビレッジ那須構想がスタートしました。AI内視鏡の導入、患者中心に情報を共有するコールセンターの設置、iPhoneやZoomを用いた院内連絡・連携体制を整備しました。

令和4年、コロナウイルスは弱毒化し風邪（Common Cold）ウイルスとなることが予測されます。博愛会はコロナ後を見据えた体制整備を進めるとともに病院のデジタル変革（DX）を図ります。年初には医療機能評価を受審し、安心・安全で質の高い医療を実現する組織体制を整備します。医師招聘に努め地域に必要な診療科を増設、充実させます。コロナ対応で整備されたゲノム検査をがん医療等に応用します。電子カルテシステム入替に合わせて、マイナンバーによる患者の識別、AIを用いた診療の効率化、ICTを用いた院内、院外連携の強化等を図ります。

今年、博愛会は寅のように力強く歩を前に進めます。博愛会の理念を基に、人生100年時代の県北地域の発展に貢献すべく、職員一丸となって頑張ります。尚一層のご指導ご鞭撻を賜りたく、心からお願い申し上げます。

元旦





菅間記念病院 1階 木村たくみ アクリル画4部作の前で

謹賀新年

2022年 元旦

新型コロナウイルスが風邪ウイルスの一つとなる（ハズの）
良い一年となりますように。

社会医療法人博愛会 菅間記念病院 院長 ^{たけうち} 竹内 ^{へいご} 丙午

あけましておめでとうございます

社会医療法人博愛会 菅間記念病院 事務長
^{あい} 藍 ^{はら} 原 ^{たかし} 隆

昨年は新型コロナウイルスの猛威により、社会インフラとしての医療の仕組・体制の脆弱性が露見し、己の無力さと当たり前で有り続けることの難しさ、諸行無常をひしひしと感じた1年でした。一方、スポーツ界では、大谷翔平選手はメジャーリーグで2刀流という世界を啞然とさせることを成し遂げ、満票でMVPを獲得しました。また、ゴルフのマスターズでは松山選手が不可能と言われていた悲願の日本人メジャー初制覇を成し遂げました。同じ日本人として誇らしい限りです。

そんな悲喜こもごも、大きな時代の波を感じる年明けとなりました。両選手の活躍から、いつのまにか常識の枠に捉われ、不可能だと決めつけて、諦めたり目をそらしたりしていることはないだろうか、我が身を振り返り大いに反省した次第です。今年は、固定観念に縛られず、新しい視点で物事を捉え直し、前向きでフレキシブルな、そして特別な1年にしたいと思います。

新年を迎えるに当たり、地域の皆様のご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げますと共に、博愛会職員は一人一人が2刀流、3刀流を実現させ、総合力を発揮し、引き続きワンチームの精神で頑張っておりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「産後ケア事業」が始まりました

2015年5月に菅間記念病院に産科が新設されてから、まもなく7年となります。分娩件数も累計1,300件を超え、那須塩原市、那須町をはじめ里帰り分娩などで県外から(北は北海道、南は沖縄まで)の受診も多くなり、全国各地からの分娩が増えました。また、外国籍の方の分娩も多くなり、カタコトの英語と心からの笑顔でより良い分娩になるよう努めてまいりました。

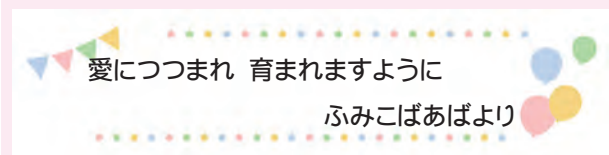
大切なお子さまの誕生の瞬間に共に喜びあえること、出産する場所を選んでもらえることに感謝しつつ、これからも日々邁進していきたいと思っています。



写真 左 ベビーピクスのようす。
右 当院で最初に生まれたお子さんは来年4月に小学生になります。

手作りのプレゼントをいただきました

ボランティアの方より、心のこもった手作りの産着やケープを寄贈いただきました。当院で出産された方々にプレゼントさせていただきました。



近年、核家族化が進んでいる現状や、複雑な社会心理的背景から妊娠・出産に伴う支援を十分に受けられず孤独な思いを抱えている妊産褥婦が多くなっています。

これらの現状から、母子に対するきめ細やかな支援が実施されるようになった平成29年4月に改正母子保健法の施行により「子育て世代包括支援センター」の設置が市区町村の努力義務として法定化されました。さらに「ニッポン一億人総活躍プラン」においては産後ケア事業において2020年度末までの全国展開を目指すとされていました。

当院で出産された方のなかにも、孤独な思いを抱えたまま育児を始める母親は少なくありません。しかもコロナ禍の中の分娩は決して嬉しいことだけではなく、里帰りでの出産を断る病院が増え、実の家族からの支援を受けられないという状況となり、さらに孤独な妊産褥婦が増えるという事態を引き起こしました。そのような現状から十分な支援を受けられずにいるママ達は不安な思いで出産を迎えることとなってしまいます。このため、厳しい状況ではありましたが、当院では理事長はじめ産科の先生たちの理解もあり、「里帰り分娩」の受け入れを断ることはありませんでした。

コロナ禍で中断していた「立ち合い分娩」も10月より再開しており、出産後に産まれた赤ちゃんを胸に抱いて「立ち合い分娩を再開してくれてありがとうございます」と涙を流すママ達がたくさんいました。そのようなことからママ達の不安を少しでも減らすよう支援していくことが大切だと感じていました。こうした背景から「妊産褥婦を孤独にしない、愛のある支援」を目標として、当院でも産後ケア事業をはじめることになりました。産後ケアとは、「赤ちゃんとの生活に不安がある」「誰も頼れる人がいない」「身体の調子が悪い」「おっぱいを飲んでくれない」「わけもなく涙がでる」などの不安があるお母さんたちをサポートするために、病院を利用してケアを提供する事業です。

私たちが全力でサポートさせていただきます!



産後ケア事業 のお知らせ



お住いの市町村では、疲れたお母さんたちのために「産後ケア事業」があります。赤ちゃんとの新しい生活で**悩みや困ったこと**があればご利用ください。



疲れている！眠れない！
おっぱいを飲んでくれない！
頼る家族がいない！
などなど。

菅間記念病院の産後ケアでは、助産師がお母さんたちをサポートします。**宿泊型、日帰り型(デイサービス)**があります。詳細は、お住いの市町村の子育て包括支援センターにご相談ください。市町村により利用できる病院が決まります。また、**当院で出産されていなくても「産後ケア」サービスは利用できます。**

ご利用の際、準備するもの

ママ

パジャマ、衣服、洗面用具、授乳に必要なもの、スリッパ、お箸、コップ、ティッシュ など

赤ちゃん

授乳用ガーゼハンカチ、オムツ、おしりふき、**赤ちゃんの衣類、ミルク、哺乳瓶** など



※赤ちゃんの沐浴用のバスタオルやタオルは病院のものを使用できます。日帰りの場合、昼食は3日前位に依頼をすれば病院から提供します。母子手帳、健康保険証も忘れずに持参ください。

助産師と一緒に悩みを解決しながら、育児を楽しみましょう。



産後ケアサービス



リフレクソロジー

産後の疲れをセラピストによるスイートアーモンドオイルを使用したマッサージで癒やされてみませんか？ 施術の後はゆっくり眠ってください。



産後リハビリテーション

当院の理学療法士が専門的知識を持って、出産時の骨盤のゆがみ、腰痛などセルフケアの指導をいたします。



産後食

疲労回復に必要なエネルギーをバランス良く、お肌や腸の調子を整えるためにビタミン・ミネラル・食物繊維がしっかりと補えるお食事を提供致します。



産後ケアで使用可能な特別室

広々とした特別室から眺める那須山の景色はとても美しいです。専用のお風呂もあり、ゆっくりバスタイムを楽しめます。

★プチ写真館★



▲ 10月に出産された口腔外科の菅間美樹先生と歯科衛生士

新任医師紹介



いなせ まさみ
稲瀬 誠実 先生



◆専門分野
消化器科

◆出身地
栃木県
大田原市

◆趣味・特技
散歩・フットサル・バンド演奏
(ベース)

昨年7月より入職致しました。大学まで栃木県で過ごし、千葉県・神奈川県で主に消化器内視鏡の研修を積み、この度地元に戻ってまいりました。栃木県北の寒い気候で身体はカチコチになりますが、スタッフの皆様の暖かい雰囲気に接し、新入職メンバーとしての緊張や力みは日々穏やかになっています。

どんな時でも正直に、真っすぐに、そして謙虚な気持ちと楽しむ気持ちを忘れずに、一生懸命頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

とおやま しんご
遠山 慎吾 先生



◆専門分野
消化器外科

◆出身地
千葉県

◆趣味・特技
沢山あるので
書き切れません

昨年9月より当院に赴任しました遠山慎吾と申します。東北大学出身で、研修は花火で有名な秋田の大曲で行い、その後大学院で博士号を取得し、昨年8月までは福島県いわき市で外科医として働いておりました。出身は関東ですが大学以来ずっと東北地方に住んでいたため久しぶりの関東、そして初めての栃木となっております。地域の医療を担う当院の医師として、地域の皆様の健康のお役に立てよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

博愛会電話受付音声対応のご案内 TEL 0570-08-0733

お電話でのご案内利便性向上の為、自動音声案内サービス「ナビダイヤル」を導入いたしました。

【番号入力で直接各部署へつながります】

詳細は以下QRコードよりご参照ください。



ご利用者様

受付

0570-08-0733

0287-62-0733

時間外受付
17:00~8:29

- 当日受診・検査予約
コールセンター受付 → ①
- 会計・診断書
医事課受付 → ②
- 健康診断・人間ドック
総合健診センター受付 → ③
- 放射線検査予約
放射線受付 → ④ → ①
- リハビリ予約
リハビリテーション受付 → ④ → ②
- 処方せん・お薬
薬剤科受付 → ④ → ③
- 介護相談
在宅総合ケアセンター受付 → ④ → ④

ご利用について↓



ナビダイヤル料金↓



部署紹介 医事課



▲ 平均年齢 30 代中盤と他の病院と比べると若手中心の部署ですが、笑顔と思いやりをもって、患者サービスを提供しています。

明けましておめでとうございます。

私たち医事課は当院へ来院された方を一番初めに対応する窓口です。「病院の顔」として良い雰囲気でお迎えることができるよう、明るい笑顔・親切で丁寧であることを常に意識しています。

業務内容について紹介します

医事課は主に患者様が病院を訪れた際に受付・対応をする窓口業務と、入院、外来の診療費計算および診療報酬明細書（レセプト）での保険請求業務の大きく 2 つの業務があります。

受付や会計などでは多くの患者様と接する部署です。患者様が安心して受診いただけるよう、また出来る限り患者様をお待たせしないように心がけて行動しています。



▲ 医事課スタッフ一人一人が患者様の立場になってできるように日々努めています。

医事課スタッフからのお願い

当院では、毎月保険証を確認させていただいています。初めての来院、月が変わっての来院の際には、受付時に保険証の提示をお願いいたします。

また、保険証等の変更・更新があった際には、その都度ご提示ください。

診療費や保険の手続きなどご不明な点がありましたら、受付窓口までお声かけください。



来院される方々に適切なお案内ができるよう、これからもチームワークを大切にスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思います。



▲ 予約がある方はこちらの再来機をご利用ください。

看護部 コロナ禍の取り組み ～手術室～

こんにちは。菅間記念病院手術室です。

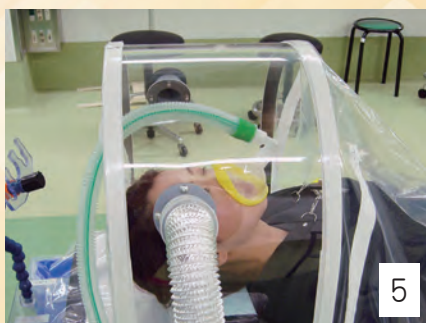
コロナ禍において、いろいろと受け入れ態勢が変化してきました。昨年から手術を受ける患者様に感染予防のため、手術前にコロナ抗原・PCR検査を受けて頂くようになりました。

新型コロナウイルス感染症蔓延を受けて、手術室スタッフで緊急手術の受け入れについて会議を行いました。緊急手術を担当する看護師は、N95マスク、フェイスシールド、手袋、ガウン等を着用し感染対策を行っています。

さらに、昨年よりクリーンドーム（可搬型陰圧クリーンドーム）を導入し、緊急手術の挿管・抜管時の飛沫拡散予防や緊急帝王切開手術の感染予防がより強化されました。運用に向けて、クリーンドームの組み立て方や使用方法などのシミュレーションを行い、実際に緊急手術で使用した例もあります。

患者様が安心して手術を受けられるよう、また、私たち医療従事者が感染媒介とならないよう日々感染対策に勤んでまいります。

クリーンドーム使用のシミュレーションの様子



- 1 組み立て中
- 2 ビニールをつけてドーム作成
- 3 患者様の頭上側から医師が挿管等をおこないます
- 4、5 スタッフが入ってみた様子

短期入院協力病院の指定について

国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構（N A S V A（ナスバ））は、自動車事故により重度後遺障害者となり在宅介護を受けられている方々の短期入院（1回の入院が原則2日以上14日以内、年間45日まで）を積極的に受け入れる病院を「短期入院協力病院」として指定しており、当院も指定を受けています。

短期入院協力病院は、[1] 医学的管理の下に、医師による診察、検査及び経過観察を受けられること、[2] 介

護されている家族の方々が、専門家から在宅介護技術（病状観察法、入浴法、食事法など）及びケアの方法等の助言・指導を受けられることが要件となっています。ご希望の場合には、事前にご連絡ください。

お問い合わせ先 地域医療連携室
TEL 0570-08-0733
(ナビダイヤル 4 → 4)

那須看護専門学校



当校公式
Twitter

サイエンスとアート

那須看護専門学校 学校長 やしる たかし 屋代 隆

よく言われることですが、那須看護専門学校は地元の医療の発展に寄与する看護師を養成するために10年前に創立されました。創立記念日は2月11日です。10周年記念誌の発行、お祝いの会の開催なども準備されています。これを機会として次の10年間に学校をどのように発展させていくのか、皆で考えながら行動していこうと考えています。

さて、医師、看護師を中心とする医療人の教育を考えたとき、「サイエンスとアート」という言葉がよく出てきます。少々今っぽい言葉のように思えるでしょうが、大変古い言葉でもあります。1849年生まれで、後に米国、カナダ、英国の医学発展に寄与、今日の基礎医学の基礎を築いたとされるウィリアム・オスラー氏の名言、“The practice of medicine is an art, based on science.” から始まったと言われおり、現代看護学の祖ナイチンゲール氏(1820-1910)も、「サイエンスとアート」という言葉を使っていたそうです。日本国内では、医師が100人いれば100人が尊敬・敬愛する故日野原重明先生も著書の中で、この言葉を何度も繰り返して引用されています。それでは、「サイエンスとアート」とは何のことでしょうか。医学・医療の分野でのサイエンスとは、正しく病気を判断し、正しい治療をするための知識と言ってよいでしょう。それでは、アートとは？ 専門の技術とか芸術という意味や側面ももちろんありますが、「医学・医療倫理学」という奥深い意味が含まれていると解釈されることが一般的です。私の大学の先輩である故阿部正和元東京慈恵会医科大学学長は、とある講演会で以下のように述べています。その一部を、そのまま紹介させていただきます。

「私が考えているアートには、技術はもちろん含みますが、それに加えて医の道、医の心を含ませたいのであります。さて、医の心とは何でありましょうか。大変難しいことではありますが、わかりやすく言えば次の三つであると思います。その第一は、患者さんの悩み、苦しみ、痛みに共感する心、sympathyであります。第二は患者さんに慰めの手、いたわりの手を自然にさしのべることができる心、compassionであります。そして第三は、患者さんのために尽くす心、serviceであります。この三つの心を医の心と考えています。」

まとめると、医学を学ぶものはサイエンスとしての医学看護学の学問的知識も習得するのは当然ですが、その前に

アート・医の心を学ばなくてはならない、ということです。これを具体的にどのように教授するのか……。大変難しい課題です。世界中の多くの教師陣に共通する課題でもあります。わが那須看護専門学校でも、このような看護師さんを育てるべく努力を継続しています。

博愛会に所属する各施設には、医師・看護師以外にもたくさんの方々が集まっています。直接患者さんの医療に関与する人以外にも多くの方々から組織は構成されています。病気で病院等に來られる患者さんは、疾病そのものの悩みだけでなく、同時に多かれ少なかれ心に不安等を抱えて来院されます。どのような職種にいる方も、そのような患者さんに「アート・医の心」をもって接して欲しいと願います。



▲ 実習に向け、戴帽式へと臨む学生たち

令和4年度 入学生募集

入試形態	試験内容	願書受付期間	試験日
第二回 一般 入学試験	学科目試験 ・国語総合 ・数学ⅠA ・英語Ⅰ 面接試験	1月5日(水) ～ 1月21日(金)	2月5日(土)
第二回 社会人 入学試験	適性試験 面接試験		

お問い合わせ (募集要項請求)

- 〒329-3135 栃木県那須塩原市前弥六 54-1
- TEL : 0287-67-1188
- URL : <https://www.hakuai.jp/>



在宅総合ケアセンター

短時間デイケア部門のご紹介

皆様あけましておめでとうございます。

介護保険サービスである菅間記念病院 在宅総合ケアセンター 通所リハビリテーション事業所は3か所に分かれてリハビリテーションを提供しています。1つ目は在宅総合ケアセンター1階にある「かんかんアカデミー」で、主に介護が必要になった方が対象となります。個別リハビリや入浴、医療処置、食事、送迎などのサービスを提供しています。2つ目は東棟1階にある「びんびんアカデミー」で、介護は多く必要ないものの身体が思うように動かさなくなった方に利用いただき、リハビリや入浴、送迎だけでなく、運動や脳トレなどの集団体操や様々なテーマの健康講話を提供しています。そして3つ目は中央棟1階リハビリテーション室内にある「短時間デイケア」です。今回はこの「短時間デイケア」の紹介をさせていただきます。

「短時間デイケア」は介護保険の認定を受けている方が対象となり、入浴や食事などのサービスは不要で、『リハビリ』のみを行いたい方に利用いただいています。1時間程の利用時間の中でリハビリなどを提供しています。開設から3年がたち、利用者様は徐々に増え、現在は1日5～10名の方が利用されています。

利用当日の流れは、リハビリ室到着後、ご自身で血圧などを測定し、「自己管理ノート」に記載します。その後、理学療法士とマンツーマンでのリハビリを30分程度行います。併せてマシントレーニングや自転車エルゴメーター、歩行練習、バランス練習などの自主トレーニングを行っていただき、帰宅となります。初めからすべてのトレーニングをひとりで行うわけではなく、できることが徐々に増え



▲ 認知機能維持のため、自己管理ノート記載中の様子



▲ マシントレーニングは初めはスタッフと行い、徐々に自主トレできるようサポートしております。

ていくようにスタッフが支援させていただきます。「積み重ねが結果を生む」のが、リハビリテーションの素晴らしいところです。

「短時間デイケア」の利用を希望される場合、担当のケアマネジャーさんに相談して頂くとスムーズに手続きが行えます。一度どんなところか見てみたいという方は、下記のお問い合わせ先にご相談下さい。

短時間デイケアスタッフが一丸となり、皆様の心と体の自立（自律）を目指してサポートしたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



▲ スタッフ一同、お待ちしております！

お問い合わせ **短時間デイケア担当**
TEL 0287-62-6170

菅間付属診療所 (菅間記念病院サテライトクリニック)

那須学への憧憬



菅間付属診療所 院長代行
たかもと たかひさ
樽本 高壽

この度、菅間付属診療所の院長代行・菅間記念病院内科医師（血液内科・透析科）を仰せ付き、令和三年七月よりお世話になっております。

生まれは、長崎市で、自治医科大学を卒業後、五島や対馬の離島でへき地診療に従事しました。その後、母校の大学院を卒業し、自治医科大学医学部内科学講座血液学部門に入局。平成十八年に同部門の講師となり、併せて同大学医学部総合教育部門も担当することとなりました。後者では、日本文学や地域学を担当し、学生の教養教育に携わりました。

自治医科大学は、ご存じのように地域医療で有名な大学ですが、当時は「地域」という概念は実は曖昧でした。そこで、その特性を学ぶ「地域学」という講座を開講しました。「地域」とは、決して「地方」や「田舎」という意味合いだけでなく、都会の中にも存在する「生活圏域」として指定されます。そこには、特有の風土はもとより、歴史や文化などの伝統が息づいています。そうした私たちが日常生活で活動するなかで、実際に、そこにおける社会と触れ合い、ひいては、主体的に地域活動に参加することによって、より良い「地域」の実現が可能になります。もちろん、健康的な生活もまたそこから生まれます。

ちなみに、菅間記念病院のある那須は、古くは那須国として文化文明が当時の都と変わらないくらいに繁栄していたことが知られています。地域学の研究フィールドとしてはとても魅力的なところであり、そのような地域で医療に携わる機会を得たことをとてもうれしく思っています。

お問い合わせ **菅間付属診療所**
TEL 0287-67-1570

ウェルネス NASPA ウェルネス NASPA2

「ウォーキング・ジョギングコース」がオープンしました！NASPA 会員様は、ジムのトレッドミル（ウォーキングマシン）の他に、屋外のコースでウォーキングやジョギングを楽しむことができるようになりました。このコースは適度なアップダウンがあり、運動の効果がさらに期待できます。また、コースにはウッドチップが敷き詰められていますので、クッションが良く、アスファルトを歩くよりも気持ち良い！とても楽しいですよ。もちろん、腰や膝、足首への衝撃が緩和されるので、お体にも優しいのです。晴れた日にはお日様の光を浴びて、気分も晴れやかに健康運動始めてみませんか？夜もナイター照明完備です！



▲ ウォーキング・ジョギングコース

NASPA では「リズムファイト」、NASPA 2では「コンバットエクササイズ」が始まりました。パンチ・キックでシェイプアップ！格闘技の動きを音楽に合わせて行う新スタジオプログラムです。腕や脚、体幹など全身を使って有酸素運動をやりましょう。意識して体幹をひねることで、シェイプアップ効果が高まります！

ストレスを解消したい、お腹の脂肪が気になる、汗をかきたいなど、さまざまな目的におススメです。心身ともにリフレッシュしましょう。格闘技の経験は必要ありません。

みんなで楽しくレッツ・エンジョイ！！



▲ 新スタジオプログラム「リズムファイト」

お問い合わせ **ウェルネス NASPA**
TEL 0287-67-1577
ウェルネス NASPA II
TEL 0287-73-5936

motto はくあい

第20回健康増進公開講座

～ 小児の起立性調節障害・思春期神経発達症 ～

令和3年10月23日に「第20回健康増進公開講座」を開催し、地域の皆様や近隣の学校の先生方をはじめ、大勢の方々にご来場を頂きました。

今回は「小児科」をテーマに、2人の先生方にご講演頂きました。宮内先生からは、自閉症・アスペルガー症候群・学習障害 ADHD といった障害の分類や特徴から、思春期特有の環境の問題や、症状に合わせた各種療法を講演頂きました。八木先生からは、お子さんの受診の兆候の具体例を交えて、病気のメカニズムから医療のサポート体制までわかりやすく講演頂きました。



当院では、八木先生による「登校サポート外来」を行っております。
・対象者：小学生～高校生の方
・主な症状：頭痛、腹痛、眠れないなど、身体症状を理由に学校生活を送れない…等
◎ご予約制のため、お電話ください。

写真 左「思春期神経発達症の理解と支援」
自治医科大学 小児科講師 宮内彰彦 先生
右「起立性調節障害～10代の朝寝坊は要注意！～」
菅間記念病院 小児科長 八木正樹 先生

ベビービクス (1～5ヶ月)

一番小さな赤ちゃんクラスのご紹介です♪

ベビービクスは赤ちゃん和妈妈のスキンシップを基本に、ベビーマッサージとベビーエクササイズからなるプログラムです。親子の絆を深め、愛情と信頼関係を育てることを目的としています。

皆様のご参加お待ちしております！

レッスン予定はこちらから →



▲季節ごとにお昼寝アートも大好評♪

私の好きな風景 Vol.11

橋に見る情景

ここ2年程旅行は自粛中ですが、行くときは自然遺産や温泉、ご当地グルメなんかを目指して楽しんでます。年1回程度でも積み重ねているうちに、あるものをコンプリートしていました。「日本3奇橋」ってご存じですか？字で表される通り、歴史的に珍しい工法の橋のことです。山梨・大月の「猿橋」は、橋脚が立てられない深い峡谷に両端から刎木を差し込んで作られた刎橋です。なかなか格好良かったです。山口・岩国の「錦帯橋」は有名ですが、洪水対策のための石積の強固な橋脚に木造の5連アーチ

ウェルネス NASPA 一瀬 裕介

という構造です。壮大で夜のライトアップもきれいです。徳島・祖谷の「かずら橋」は、平家の落人が追手から逃げる際に燃やせるようにカズラを編んで作った吊り橋です。渡れますが怖いです。

橋は横から見ると良いですが、下からがお勧めです。「なぜこんな組み方が思いつくのか？」パソコンなどない時代の、当時の高度な建築学と技術の高さ、そこに住んで携わっていた人々の生活と熱気が垣間見れるような気がします。



▲猿橋 (山梨・大月)



▲錦帯橋 (山口・岩国)



▲かずら橋 (徳島・祖谷)